

FMRC の概要と TUFC コレクションの運営体制

早乙女梢

鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター遺伝資源評価保存部門
〒680-8553 鳥取県鳥取市湖山町南 4-101

Outline of FMRC activities and quality management system of TUFC collection

Kozue Sotome

Fungus/Mushroom Resource and Research Center, Faculty of Agriculture, Tottori University
4-101, Koyama-cho Minami, Tottori 680-8553, Japan

1. カルチャーコレクションとしての FMRC 設立の経緯と組織体制

鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター (FMRC) は、平成 17 年に (一財) 日本きのこセンターより約 900 種 3,000 株の野生きのこ菌株と菌草研究所研究員の本学への受け入れを機に発足した。その後、文部科学省グローバル COE プログラム「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」(平成 20~24 年度) の採択により、きのこ菌株 (TUFC コレクション) の積極的な発掘・収集活動とそれらの活用に関する研究を広く展開し、平成 24 年 6 月に一部の保有菌株の分譲サービスを開始した。FMRC では、保有する 552 属 1,592 種 8,802 株のうち、ITS や LSU などのバーコード領域の DNA 塩基配列と菌株性状の評価を経た、約 600 種 1,300 株を分譲可能株としてオンラインカタログ上で公開している (平成 30 年 4 月末)。FMRC には、兼務を含めて 14 名の教員が属しており、きのこ資源の利活用の促進を目的とした研究を実施する 3 つの応用研究部門と多様性の解明や分類を主たる研究とする 2 つの基礎研究部門を構成している。カルチャーコレクションとしての運営には、後者に所属する 4 名の専任教員がかかわっている。

2. TUFC コレクションの運営体制と効率化

カルチャーコレクションの業務として、新規菌株の収集、寄託、保存や復元チェック、DNA 塩基配列の決定に加え、分譲受付や発送業務を行っている。

FMRC の教員は、研究に加え、講義など教育業務も担っており、カルチャーコレクション業務に専念できないため、非常勤職員 (アルバイト職員と技術補佐員) が果たす役割は大きく、基本的に 2 名の非常勤職員を雇用している。また、少人数で運営している FMRC では、業務の分担化と迅速な情報共有が効率化の鍵となっており、菌株と証拠標本のオンラインカタログや紙ベースのシート類 (標品シート) を活用したり、コレクションの運営に関する情報共有の場として月に 1 回の業務ミーティングを設けている。会議で上がった話題を基に、業務改善にも取り組んでいる。

3. コレクションにおける人材育成、技術や知識の継承

凍結保存や復元を含む日々の菌株関連業務は技術補佐員 (1 名) が担当してきたが、いわゆる「5 年ルール」により、平成 29 年度をもって退職せざるをえなくなった。現在、菌株管理のために、技術職員 (2 名) が臨時派遣され、一時的に業務を担当している状況である。教員は異動がないが、その一方で、教員外の常勤職員のサポートなくして、大学附属のカルチャーコレクションの運営はありえないと痛感している。FMRC では、非常勤職員の雇用財源も自助努力となっており、雇用の安定もままならない状況のため、「人材育成」や「技術や知識の継承」が大きな課題であるが、学内外におけるきのこ資源の活用活動の促進に寄与し、技術職員の確保によって、安定したコレクション運営を目指したい。